

綾里中学校 出前授業（岩石を観察しよう）

日時： 2015年2月12日

場所： 大船渡市立綾里中学校

参加者： 中学1年生 20名、教員1名

単元： 中1「大地の変化を読みとる」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

本単元では、一般的に教科書の写真と市販の岩石サンプルを使って、岩石の種類について学習するが、身近に転がっている石について学習する機会はほとんど得られないのが現状だ。今回の授業では、綾里中（大船渡市）と神奈川県箱根町・箱根ジオミュージアムにいる地学の専門家を、TV電話で中継をつなぎ、生徒たちが自ら採集してきた岩石を用いて、実験を交えた授業を行った。授業の最後には、地学の専門家が、周辺の火山地帯の様子を見せるなど、写真からではなかなか実感が持てない地質について、より理解を深めることができた。また、新しい教材（タブレット型顕微鏡）を事前に中学校の教員にレクチャーし、授業の中盤で活用いただいた。

実施結果：

生徒たちは、今回の出前授業の前に、自分たちで採集してきた岩石について、教科書に載っている同定方法は試していたが、その方法だけでは判別できない岩石の種類について、専門家から話を聞くことができた。これにより、自分たちが住む地域の岩石について、より理解が深まった。また、教科書の内容から発展し、岩石の同定方法について、実験を交えて学習した。

今回の事例は、岩手県沿岸部のように、なかなか科学館や博物館に行くことが困難な環境であっても、専門家と気軽に話すことができる手法の一例となった。

この様子は、2月12日めんこいTVで放送されました。

感想：

・博物館と通信しながら、岩石の勉強をして、分かりやすく、岩石などの事について、説明してくれたりしたのが良かったです。（生徒）

・岩石では学校から拾ってきた石を見てもらい、けつ岩など教科書にないものがあつたのがビックリで、どの石がこの地域にあるかなども分かってしまうのがスゴイと思いました。（生徒）

